

今週のお祈り
聖霊降臨後第5主日特祷(特定10)

主よ、憐れみの耳を傾けて、僕らの祈りをお聞きください。どうかその願いがかなえられるために、主の喜ばれることを願い求めさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

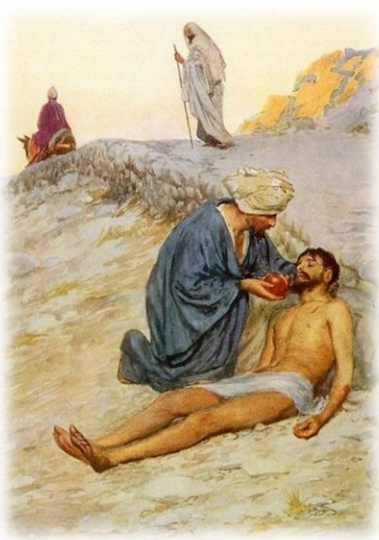
号外258

発行日
2025年
7月13日

暑かったり涼しかったり、ものすごい大雨が降ったり雷が落ちたり、また地震による不安が続いていたり...先週もいろいろな自然の現象に悩まされました。体調にも影響が出やすい時期です。お大事にね(๑)

今週の聖書 ルカによる福音書 10:25-37

25 すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」26 イエスは言われた。「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか。」27 彼は答えた。『心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」28 イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」29 しかし、彼は自分を正当化しようとして、「では、私の隣人とは誰ですか」と言った。30 イエスはお答えになった。「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追い剝ぎに襲われた。追い剝ぎたちはその人の服を剝ぎ取り、殴りつけ、瀕死の状態にして逃げ去った。31 ある祭司がたまたまその道を下って来たが、その人を見ると、反対側を通って行った。32 同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、反対側を通って行った。33 ところが、旅をしていたあるサマリヤ人は、その場所



聖書からのメッセージ

執事 林 汶慶

イエスさまは神の国に入るためには神さまを愛し、隣人を愛さなければならぬと言いました。ある人がイエスさまに「私の隣人とは誰ですか?」と聞きました。イエスさまは、その人の隣人が誰なのかは答えませんでした。その代わりに、他人の隣人になるよう求めました。そして、他人の隣人になるには、憐れみの心が必要だと言いました。

誰かと友だちになりたいなら、まずその人の友だちになるようにしなければなりません。つまり、自分の目線に立って物事を考えるのではなく、他人の立場に立って考えるのです。イエスさまは、憐れみの心をもって、実行することの大切さを教えてくださいました。そのように実行しましょう、きっと他の人の友だち、他の人の隣人になれるはずです。

イエスさまも憐れみのゆえに、私たちの神さまとなったのです。

に来ると、その人を見て気の毒に思い、34 近寄って傷にオリーブ油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分の家畜に乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。35 そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』36 この三人の中で、誰が追い剝ぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」37 律法の専門家は言った。「その人に憐れみをかけた人です。」イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」